

こまつがわからのお知らせ

<就労支援事業>

5月のプログラムでは4月の就労準備性ブラミッドに引き続き「就労準備性について考えてみる。」をウェルビーイング・錦糸町とウェルビーイング・秋葉原の方にお願ひしております。

チェックシートなどを使いながら自己感覚（自分を良く知る。自分の立ち位置を把握する。）を就労準備性をどうセルフマネジメント（自己管理）をしていくか？就労準備性の計画表を作成してみるなどを予定しております。

当日内容が変更になる場合もあります。

<居住支援事業>

4月から職員になり、住居支援事業を担当する坂本です。私自身は何回か引越をしたことがありますが、荷造りや手続きなど色々やる必要がありますよね。それだけでなく、決めたり優先順位をつけたりすることも必要になってきます。

例えば、希望が全て叶う物件はないので何を優先するかを考えることや、1つの物件に決めるということなどです。住居支援事業では、利用される皆さんが家探し・引越をする過程で、お気持ちに寄り添い、考えや迷いなどを整理するお手伝いもしていきたいと思っています。

<ピアサポーター育成事業>

昨年度の修了者の方の実習が、コロナの影響もありなかなか進みません。終了者の方々にはご迷惑をおかけしているので、心苦しく思っています。

その中でも、今年度の準備も少しずつ進めています。昨年と同様、6月から7月頃には説明会が開催できるようにしていき、9月から講座がスタートできるようにしていきたいと思っています。また、詳細が決まりましたら随時お知らせしていきます。

<広報部 ワッツアップ>

こんにちは、浅です。暖かくなりましたね。初夏の日も何度か…。最近眠れないという声をよく聞きます。私も眠れない日も何度か…。春なのか、天気も上がり下がりをお繰り返しますよね。それと同じく気持ちも上がり下がりします。自分自身の気分転換法を分かておくといいですね♪

私の気分転換法は、動画を観たり、バンドの音楽を聴いたり、愛猫と戯れたりします。今度、皆さんの気分転換法を教えてください！

こまつがわ美術館

センターこまつがわの芸術家さん達が心を込めて…

今回ご紹介するのは、前田ダイスケさんです。

とある午後、ふと手にとった紙とペンで描いたのは、交流室。「あ、シールドがないね」と気づいたのは、近くにいたメンバーさんでした。「だって、無い方がいいんじゃない？」と。

前田さんのとても素敵な作品のひとつが、本人の愛用している「自由帳」です。ペンを走らせる姿は、まるで音楽家がメロディを奏でているような、そんな雰囲気があります。

「ただのメモですよ」とさらっと話す前田さん。

立ち振る舞いや所作一つ一つに、前田さんの音楽が流れている。そんな気がしてなりません。

